

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 （ 個 人 質 問 ）

【質問日】 令和 7 年 6 月 2 0 日（金）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
6	松 野 信 作	1 自治会未加入者対策について ・ 現在の状況と今後の取組は 2 道路愛護・河川愛護作業について (1) 道路愛護作業について ア 草刈り後の草を自治会で処理できないか。 イ 環境課と連携した取組はできないか。 (2) 河川愛護作業について ア 市による伐採はできないか。 イ 河川に堆積した寄り州を市で除去できないか。 ウ 河川管理費等の予算を増額する考えはないか。 (3) 民間活用併用方式はできないか。 3 市職員のイメージアップを図る取組について (1) 地区コミュニティ協議会等が主催するイベント等への応援はできないか。 (2) 自治会活動や学校、PTA活動へ積極的に参加できないか。 (3) 職員厚生会等と協力してウインドブレーカーなどを揃え、イメージアップが図れないか。
7	小 林 健	1 市公式LINEの登録促進による市の広報力強化について (1) 現在の登録者数と配信状況について、どのように評価されているか。 (2) 日常的な情報伝達手段としてのLINEの可能性について、市としてはどのように捉えているか。 (3) 登録者数を増やすために、イベント会場や窓口での登録促進、登録者限定の情報提供など、具体的な施策を検討されているか。 (4) 「キャッシュレスで薩摩川内市を応援しよう」キャンペーンのような施策とLINE登録を連動させることで、登録者数を増やす取組を今後の施策に取り入れる考えはあるか。また、他自治体のように、LINE登録者限定の抽選や特典、イベント先行案内などを導入することで、登録促進を図る施策を検討されているか。 (5) 今後、LINEを活用した行政手続の簡素化（申請受付、本人確認など）を導入する可能性について、どのように考えているか。さらに、LINEを活用した支援金申請、本人確認付きの手続など、行政手続の簡素化を進める具体的な計画はあるか。 2 甕島観光の促進に向けた市民向け施策について (1) 市民向けに日付を限定した割安なプランを企画できないか。 (2) 島内での移動付きパッケージの整備は可能か。 (3) 市民レポーター制度や体験クーポンの導入についての見解は
8	犬 井 美 香	1 地域医療体制について (1) 市長の考える10年先、20年先の地域医療のビジョンは (2) 本市の医療の問題や課題は

		(3) 本市の医療機関の状況を示せ。 (4) 一次救急医療機関・二次救急医療機関・三次救急医療機関をどのように区分しているか。 (5) 休日当番及び夜間当番の診療科目ごとの患者数は (6) 休日当番・夜間当番体制の課題は (7) 今年度より「医療相談アプリ いつでもドクター」を導入しているが、登録状況とその効果をどのように捉えているか。 (8) 重症救急患者の医療を確保するための対応策は 2 人口減少対策について (1) 本市の過去5年間の人口の男女別推移及び出生数を示せ。 (2) 人口減少に歯止めがかからない現状をどう捉えているか。 (3) 人口減少の課題を見出すデータやアンケートはどのようなものか。 (4) 今後の施策の方向性を示せ。 (5) 人口減少対策についての市長の考えは 3 各種団体等の会計の適正管理について (1) 市職員が管理している準公金の会計管理の現状と再発防止策の検討状況を示せ。 (2) 市が補助金等を交付している各種団体における会計管理状況を把握しているか。 (3) 準公金、補助金等の会計の適正管理について、どのように考えるか。
9	宮 野 健 一	1 第3次薩摩川内市総合計画の推進体制について (1) 計画立案の段階を終え、これからは総合計画に基づく施策を推進し、評価及び管理・監督していく重要な段階を迎える。当局として全体をまとめ戦略的（総合的・長期的）に評価等を実施するため、いかなる体制をもってPDCAサイクルを機能させるのか。その方針を問う。 (2) 実施計画は基本計画に掲げた政策や施策に基づき、向こう3年間で取り組む事業を示したものとされているが、当該実施計画は全体の計画体系でどのように活用されているのか。また、現在の記載事業は実施計画の位置付け上適切なレベルであるかを問う。 (3) 市は前期基本計画及び薩摩川内市スマートデジタル計画等に基づく、市役所改革の検討を本年度から着手することとされているが、この中で組織活性化及び組織力の向上の取組の一つとして「庁内ナレッジマネジメント」の推進が挙げられている。このナレッジマネジメント導入の背景・目的及び実施体制の概要はどのようなものかを問う。 2 甕島航路の課題等について (1) 「結 Line こしき」への改善要望について ・ 本年3月に就航した「結 Line こしき」に関して利用者から従来のフェリーより乗降時の階段が急である、エレベーターが使いづらくバリアフリー化が低下している等の様々な問題点が提起されている。 (7) 市はこのような住民の声を把握しているか。また、就役と同時に様々な改善要望が出されるのはなぜか。その原因について市の見解を問う。 (8) 住民からの問題提起に対し、検討委員会等の合議の場を設置し現状を正確に把握するとともに、関係機関を含め総合的に解決策を検討すべきと考えるが、市の見解を問う。

		(2) 新造船の開発体制等について ア 次期高速船に関する新船への更新時期など建造に関わる構想等はあるのか伺う。 イ 新船の建造等に際しては、利用者の声を反映する開発体制が必要であり、かつ、当局も開発に積極的に関与していくべきであると考えているが、当局の見解を問う。 (3) 甕島航路のBCPについて ・ 昨年10月に発生した屋久島航路の長期運休に鑑み、今後甕島航路においても同様な事態が生起する可能性は否定できないが、そのような際の対応要領は事前にBCPとして検討されておくべきものとする。 ⑦ 現在のフェリードック期間の対応と課題並びに運休が半年等の長期に及ぶ場合の影響、課題は何か。 ⑧ 運休が長期に及ぶ場合の代替プラン（臨時船のチャーター、コスト負担等）は県及び甕島商船と検討されているのか。 3 地方自治における正義とは何か。 (1) 一般論として行政が施策実施の可否を決定する場合、メリットとリスク（デメリット）は重要な判断基準の一つになると考えられるが、施策遂行に伴うリスクをどのように考えているのか、当局の見解を伺う。 (2) 前の平展望所のライブカメラ画角設定に係る当局のリスク等に関わる判断は現地の状況、住民の声などを適切に評価した上でのものか見解を問う。
--	--	---